

信州の環境にやさしい農産物認証取得者事例調査票（野菜）

認証取得者氏名	寺澤 茂春	認証番号	50-00368	地事名	下伊那
地域（標高）	松川町増野（650m）				
土壌（土性）	褐色森林土壌				

項目	生産計画の内容		補足メモ
1 栽培 状況	(1) 品目	ねぎ（品種：ホワイトスター）	軟腐病、さび病に耐病性あり
	(2) 作型名	露地秋冬栽培	
	(3) 面積	4 a	
	(4) 栽培戸数又は労働力	1人	
	(5) 栽培期間	平成28年6月～平成29年1月	
	(6) 収穫期間	平成28年10月20日頃～平成28年12月末	
	(7) 収穫量	H27実績 0 kg（うち出荷量：0 kg）	
	(4aあたり）	H28計画 500 kg（うち出荷量：450 kg）	1,250kg/10a

2 栽培 方法	(1) 土づくり	平成28年3月26日 堆肥散布																																							
	(2) 播種	平成 年 月 日																																							
	(3) 育苗期間	平成 年 月 日～ 月 日																																							
	(4) 定植	平成 28年 6月 6日～ 月 日	定植苗購入																																						
	(5) 肥培管理	<p>化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <p>有機由来窒素源として、オーガニック853を基肥、SGR（ともに有機100%）を追肥で使用 牛糞堆肥を10aあたり500kg施用して土づくりを行っている。 土壌改良材は、果樹での栽培経験を活かし、多種多様な資材を使用している。（ハーモニーシェル・古 代天然苦土・酵素S+天然にがり・スリーナイン）</p> <p>技術を導入する際の考え方</p> <p>環境にやさしい農業の先駆者である、寺澤氏は果樹栽培での40年来の経験から、野菜でも同様の取り組みを行う 志向があった。 そこで近年、米やねぎ、きゅうり等への無化学肥料・低農薬栽培にも取り組んでいる。無化学肥料は、土壌の健 全化を保てば可能であり、そのための堆肥施用と土壌診断に基づいた微量要素等の補給を行っている。</p> <p>肥料の施用内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="3">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> <th rowspan="2">加里</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シモエダ堆肥</td> <td>500</td> <td>10.5</td> <td>0.0</td> <td>10.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>オーガニック853</td> <td>60</td> <td>4.8</td> <td>0.0</td> <td>3.0</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>SGR</td> <td>40</td> <td>1.6</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>600</td> <td>16.9</td> <td>0.0</td> <td>15.0</td> <td>10.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>低減率(%)</td> <td>100.0</td> </tr> </table>		肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)			窒素		リン酸	加里	うち化学由来		シモエダ堆肥	500	10.5	0.0	10.0	7.5	オーガニック853	60	4.8	0.0	3.0	1.8	SGR	40	1.6	0.0	2.0	0.8	合計	600	16.9	0.0	15.0	10.1	地区慣行施肥量 (kg/10a)	21	低減率(%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																							
		窒素				リン酸	加里																																		
		うち化学由来																																							
シモエダ堆肥	500	10.5	0.0	10.0	7.5																																				
オーガニック853	60	4.8	0.0	3.0	1.8																																				
SGR	40	1.6	0.0	2.0	0.8																																				
合計	600	16.9	0.0	15.0	10.1																																				
地区慣行施肥量 (kg/10a)	21																																								
低減率(%)	100.0																																								

2 栽培方法	(6) 病害虫防除	<p>化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適期防除に心がける。(害虫・病気はともに発生初期に確実に防除を行う) ・今年は農薬未使用で栽培中。(H28年9月末現在) <p>技術を導入する際の考え方</p> <p>基本的には防除暦に沿った防除を行うが、気象条件やねぎの生育状況等により、病気や害虫の発生が見られなければ防除を省く。畝間を広く取り、土寄せや薬剤の散布の死角がないよう管理している。</p> <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名※</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>慣行回数</th> <th>対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺菌剤</td> <td>① ダコニール1000</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">9</td> <td>黒斑病・べと病・葉枯病・さび病他</td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td>② ベルクート水和剤</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>葉枯病、さび病、黒斑病</td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td>③ アミスターオプティフロアブル</td> <td>1,000</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>べと病、さび病、黒斑病、黄斑病等</td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td>④ アミスター20フロアブル</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>さび病、べと病、黄斑病、黒斑病等</td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>⑤ プレバソンフロアブル5</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">11</td> <td>ヨトウ類、ネギコガ、ハモグリバエ類</td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>⑥ ベストガード水溶剤</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ</td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>⑦ モスピラン顆粒水溶剤</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>アザミウマ類</td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>⑧ プレオフロアブル</td> <td>1,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>ヨトウ類、ネギアザミウマ</td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td>⑨ トレファノサイド乳剤</td> <td>300ml</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1年生雑草</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>合計</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※農薬名に番号を付記</p> <table border="1"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>削減率 (%)</td> <td>54.5%</td> </tr> </table>		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫	殺菌剤	① ダコニール1000	1,000	1	1	1			9	黒斑病・べと病・葉枯病・さび病他	殺菌剤	② ベルクート水和剤	2,000	1	1	1			葉枯病、さび病、黒斑病	殺菌剤	③ アミスターオプティフロアブル	1,000	2	1	2		1	べと病、さび病、黒斑病、黄斑病等	殺菌剤	④ アミスター20フロアブル	2,000	1	1	1			さび病、べと病、黄斑病、黒斑病等	殺虫剤	⑤ プレバソンフロアブル5	2,000	1	1	1			11	ヨトウ類、ネギコガ、ハモグリバエ類	殺虫剤	⑥ ベストガード水溶剤	1,000	1	1	1			ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	殺虫剤	⑦ モスピラン顆粒水溶剤	2,000	1	1	1			アザミウマ類	殺虫剤	⑧ プレオフロアブル	1,000	1	1	1			ヨトウ類、ネギアザミウマ	除草剤	⑨ トレファノサイド乳剤	300ml	1	1	1			1	1年生雑草					合計	10	0	1	21		農薬の使用回数	10	地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	22	削減率 (%)	54.5%
		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫																																																																																																						
	殺菌剤	① ダコニール1000	1,000	1	1	1			9	黒斑病・べと病・葉枯病・さび病他																																																																																																						
	殺菌剤	② ベルクート水和剤	2,000	1	1	1				葉枯病、さび病、黒斑病																																																																																																						
殺菌剤	③ アミスターオプティフロアブル	1,000	2	1	2		1	べと病、さび病、黒斑病、黄斑病等																																																																																																								
殺菌剤	④ アミスター20フロアブル	2,000	1	1	1			さび病、べと病、黄斑病、黒斑病等																																																																																																								
殺虫剤	⑤ プレバソンフロアブル5	2,000	1	1	1			11	ヨトウ類、ネギコガ、ハモグリバエ類																																																																																																							
殺虫剤	⑥ ベストガード水溶剤	1,000	1	1	1				ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ																																																																																																							
殺虫剤	⑦ モスピラン顆粒水溶剤	2,000	1	1	1				アザミウマ類																																																																																																							
殺虫剤	⑧ プレオフロアブル	1,000	1	1	1				ヨトウ類、ネギアザミウマ																																																																																																							
除草剤	⑨ トレファノサイド乳剤	300ml	1	1	1			1	1年生雑草																																																																																																							
				合計	10	0	1	21																																																																																																								
農薬の使用回数	10																																																																																																															
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	22																																																																																																															
削減率 (%)	54.5%																																																																																																															
(7) 雑草防除	土寄せと手取りにより除草。除草剤は使用しない。																																																																																																															
(8) 収量の状況	昨年は労力不足から販売できるものにならなかった反省から、今年度は人手を確保し土寄せを5回、手取り除草と追肥を各1回実施。窒素分は抑えているため無農薬でも病気や害虫の発生は少ない。																																																																																																															
(9) その他特記事項	果樹園に囲まれた圃場のため、害虫や病原菌が少ないと思われる。																																																																																																															
3 販売状況	(1) 主な販売地域	管内の直売所・JA																																																																																																														
	(2) 販売方法	県内 (直売所・JA) 県外 (卸、仲卸へ直接販売)																																																																																																														
	(3) 県認証の活用方法	直売所で販売するものは、シールを貼付して出荷する。																																																																																																														
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	地元で需要があり、今から予約が入っている。																																																																																																														

